

2023年5月_中古車市場の動向

1. 中古車流通概況

- 日本自動車販売協会連合会（自販連）と全国軽自動車協会連合会（全軽自協）が発表した2023年5月の新車販売台数（登録車と軽自動車の合計）は、前年同月比25.0%増の32万6,730台となり、9カ月連続のプラスとなっています。前年5月は半導体不足、コロナ禍に伴う中国・上海の都市封鎖による部品供給網の混乱等により販売が落ち込んでおりましたが、これらの影響が和らぎ、トヨタ自動車など大手8社が軒並み前年水準を上回りました。
- 日本自動車販売協会連合会（自販連）と全国軽自動車協会連合会（全軽自協）が2023年5月12日に発表した中古車の販売台数（登録と届出の合計）は、前年同月比2・4%増の50万1,582台となりました。前年実績を上回るのは3カ月ぶりとなり、新車の供給制約の緩和が進んでいることが中古車市場にも波及しているものと思われます。
- うち登録車についても月別販売台数が前年同月比0.9%増の28万5,500台となり、約2年ぶり（22カ月ぶり）に前年比プラスへと転じる等、状況が好転しているものと思われます。また、全軽自協が公表した中古車の届け出台数は前年同月比4・5%増の22万4,192台となり、2カ月ぶりに前年を上回りました。

2. ASNETにおける流通動向

（1）オークション取引

5月のオークション出品台数は、前年同月比20%程度の増加となり8カ月連続でプラスとなりました。小売り販売が動き出した影響からか、オークション会場の成約率は4月開催分に比べ5%程度上昇しております。

これに伴い、ASNETにおける5月のAA落札状況は、会場成約率の上昇に伴って前年同月実績よりも好調に推移しております。しかしながら入札件数は前年同月よりも弱含みとなっていることから、引き続き小売販売の動向を注視する必要があると思われます。

（2）AAワンプラ取引

5月のAAワンプラ取引実績は、出品台数の増加等に伴い、前年同月比でも大幅な増加となっており、昨年11月から7ヶ月連続での前年比を上回っております。オークション取引の成約率が少しずつ上がってきておりますが、依然、中古車仕入において、価格の見定めがしにくい状況が続いているオークション取引からAAワンプラでの落札へシフトしていること及び同じワンプラ取引であるASワンプラからのシフトが続いているものと思われます。

（3）ASワンプラ（共有在庫）取引

ASワンプラ取引の5月末現在の出品台数は、4月末と比べ9千台程度のマイナスとなり、3カ月振りに増加となった先月から一転してマイナスとなりました。

一方、取引状況は先月と同様、前年と同水準の実績を確保しております。今後については、オークション会場での成約率が少しずつ回復していることからASワンプラ取引の活性化も期待されますが、輸出動向や小売市場の動向には引き続き注視する必要があるでしょう。